経済学がもっと面白くなる〈情報＆メッセージ!〉

北海学園大学 経済学部報
【エコン】
2017.夏・秋号

econ.

No.36

特集 経済学部は進化する！

主体的・能動的・体系的に学びを深めていくための新カリキュラム。

news 1 2部合同基礎ゼミ「経済、経済学を学ぶこと—私の体験から」
辻弘範先生（4ページ）

news 1 特別講義講演会「GISの活用方法とその社会的・経済的意義」
浅妻浴先生（4ページ）

news 1 経済学部特別講演会「韓国におけるマウルづくりの現状と課題」
内田先生（4ページ）

連載企画 研究室の窓から●濱田武士先生
（5ページ）

news 2 財政学特別講演会
野口剛先生（6ページ）

news 2 市民公開講座「世界の言語と文化のモザイクを眺める」
辻弘範先生（6ページ）

news 2 ゼミ対抗ソフトボール大会
宇土至心先生（6ページ）

interview OG訪問—働きウーマン⑩大森由美子さん
（7ページ）

連載 column From a Distance ⑧歌代崇史先生
（8ページ）

news 3 就職情報
野口剛先生（8ページ）

特集 経済学部は進化する！

主体的・能動的・体系的に学びを深めていくための新カリキュラム。

2018年4月、経済学部のカリキュラムが生まれ変わります。現代の社会･経済は急速に変化を遂げており、私たちの生活にも様々な影響を及ぼしています。変化する環境の中で、人間の幸福と社会の持続可能性を高める「解」を探り出し、実践と修正のプロセスを通じて社会や組織を進化させていくことが、経済学を学ぶ醍醐味です。進化した経済学部の新カリキュラムをご紹介します。

浅妻裕先生●経済学科・経済政策担当

新カリキュラム４つの柱はこれ！

- 選べるコースが6→8に増加！
- 国際系科目の単位修得を重視！
- 現場での学びを重視！
- ４年次における学修の充実！

西村宣彦先生●地域経済学科・地方財政論担当

経済学部に出願 → 経済学部統一の入学試験 → 合格発表

＜経済学部の入学試験＞

A ６年ぶりの全面リニューアル

Q：新カリキュラム導入の意図は？

浅妻：2012年度に各学科３つのコースの導入を柱とした、カリキュラムの全面的な見直しを行いました。それから5年が経過したことから、学生や教員にアンケートを行い、現状と課題の検証を行いました。これまで以上に学生が自ら問題意識を持って、主体的・能動的・体系的に学びを深めていけるようにすることが、今回の新カリキュラム導入の狙いです。

◀「経済学部ハンドブック」
本学済学部オリジナルの１年次必携アイテム。高校までとは異なる大学での学びの見取り図をわかりやすく説明します。基礎ゼミの時間にはこれを使って、レジュメの作り方、レポートの書き方、プレゼンの仕方などを学びます。

B 各学科４コース、学部全体で８コースに！

Q：各学科４コースに増えるのですね？

浅妻：そうです。入試はこれまでと同様、学部統一入試で、2年進級時にゼミを選択し、所属学科が決まります。このとき自分が体系的に学んでいくコースを選択してもらいますが、学生が選べる選択肢を増やしました。例えば、地域経済学科には「自然資源と地域」コースを新設しました。北海道の主要産業である農林水産業は、自然資源を基盤としていますが、その農林水産業を研究対象にした専門家が、本学部には実はたくさんいます。全国の経済学部の中で珍しく、本学部の大きな特色です。このように教員の専門分野を見渡しながら、体系的に学びを深められるように、コースの拡充や組み直しを行いました。
［コース説明を参照］

C 国際系科目の単位修得の重視

Q：コース以外にはどこを見直しましたか？

西村：コースとして国際経済（経済）、アジア共生（地域経済）の２コースが設置されていますが、経済のグローバル化が進み、北海道にも多くのインバウンド（外国人観光客）が訪れ、道内企業も積極的に海外展開する現代にあって、どのコースを選択しても、国際的視野を持つことは必須です。そこでコースとは別に、国際系科目群を設置することで、学生の単位修得を促すことにしました。

１●財政･金融コース

このコースでは経済メカニズムの理解の上に、国や自治体、また金融資本などの各経済主体による財政や金融の仕組みとその役割について学び、財政や金融面から経済を把握します。

２●経済・産業と政策コース

このコースでは日本経済のこれまでの歩みから、それぞれの産業・企業、私たちの暮らしそのものについて、またそれらに関連して政府が行う幅広い政策、財政・金融的手法も含めた様々な方策などについて学びます。

D 現場での学びの重視

Q：昨年度、「地域インターンシップ」を試行実施したそうですね？

西村：はい。「現場で学ぶ」を重視した科目として、従来から「地域研修」を実施し、本学部の目玉となっていますが、２～３泊が中心の地域研修より、もっと長く地域に入り込んで、地域の魅力や課題に触れ、解決・改善方策を考え実践する科目として、「地域インターンシップ」を正式に開講します。「インターンシップ」というと一般に、企業や団体での就業体験をイメージしますが、ここでは地域の中で様々な仕事に従事し、人間関係を築きながら、地域づくりの担い手としてのマインドやスキルを磨くことを狙いとしています。もちろん「現場で学ぶ」だけでは限界がありますが、現場で受けた刺激や成功・失敗体験が鮮烈な問題意識となり、学びへの動機となって、授業やゼミに生き生きと取り組んでほしい。そうした「学びの空気」を学部全体に「伝染」させる突破口になればと期待しています。

E ４年次における学修の充実

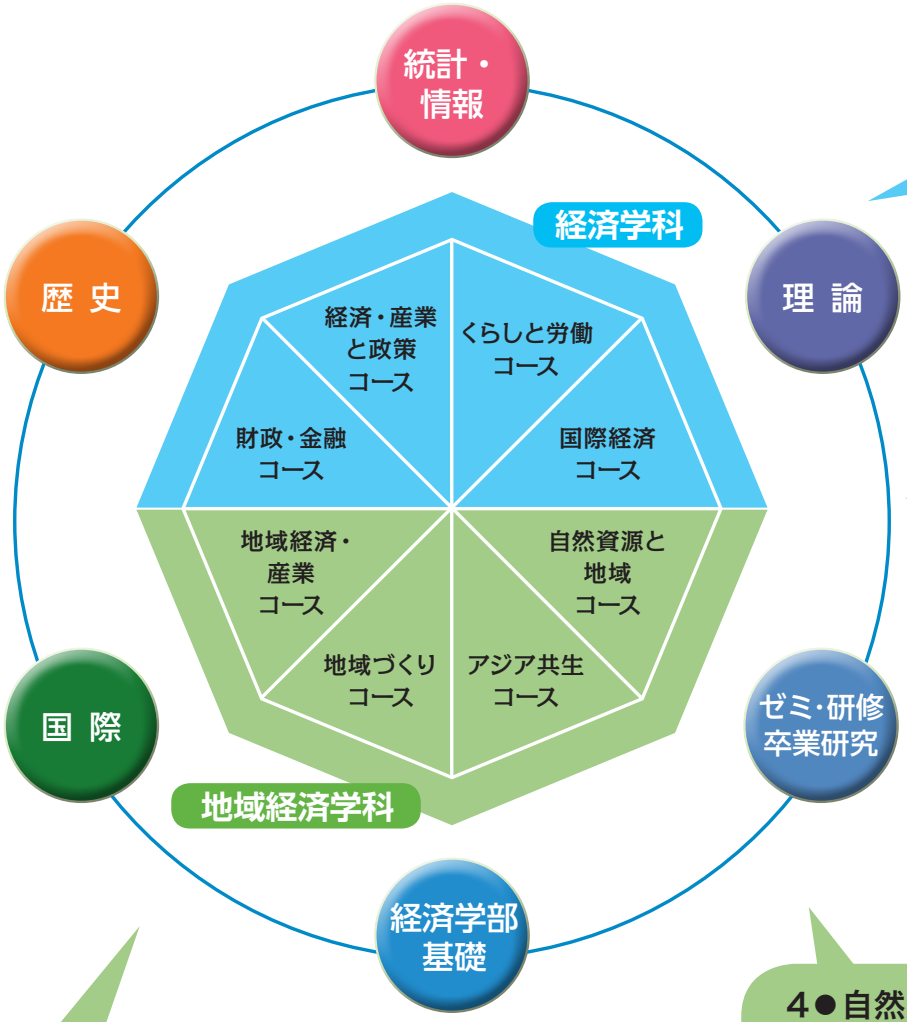
Q：４年次のゼミナールⅢに代わって、卒業研究が導入されましたが？

浅妻：4年次の教育は就職活動との兼ね合いで、どうしても行き届きにくくなりがちな現状があります。しかし4年間の集大成でもある4年次の学修の充実は、学生の成長という面から非常に重要です。卒業論文ではなく卒業研究としたのは、論文形式にこだわらず、地域経済学科であれば、地域での調査や実践の報告書も認めるという趣旨からです。必修ではありませんが、できる限り4年生は卒業研究を提出するように、履修指導を行っていく予定です。自ら課題を設定し、答えを探し求め、結果をまとめるという経験と自信は、社会人になった時に、その真価に気づくことになります。

学科に所属せず経済学部1年生として入学

1年次	2年次・3年次・4年次

入学・基礎ゼミ → 学科・コース選択 → 専門ゼミ・研修・卒業研究



3●くらしと労働コース

このコースでは、現代日本の少子高齢化、家族の多様化、人口減少、非正規雇用の増大などといった社会・経済環境の変化の中で、人々が互いに支え合いながら生活を保障し生き生きと暮らすための仕組みをどのように作り上げていくかを考えます。

4●国際経済コース

このコースでは一国の枠を超えて広がる世界経済の仕組みや実態、各国経済の違いを学びながら、世界経済と日本経済のかかわりや望ましい世界経済秩序のあり方などについて考えます。

1●地域経済・産業コース

このコースでは地域経済の理論と現実をふまえながら、歴史的背景や地理的特性の中で、北海道経済を支える産業基盤、日本経済に占める北海道経済の位置、北海道経済の現状・課題と発展可能性を深く掘り下げて探究します。

4●自然資源と地域コース

このコースでは豊かな自然資源に恵まれ、農林水産業をはじめとした一次産業が盛んで、近年は自然エネルギーの活用が広がる北海道を主に念頭におきつつ、経済・社会の基盤となる自然資源の持続可能な利用を通じた地域の発展方策を探究します。

2●地域づくりコース

このコースでは地域の構造問題にメスを入れながら、安心・安全で活力溢れる地域社会を実現するために、行政、住民組織、民間企業、NPO などの多様な主体のあり方を学び、その方策・担い手づくりを探究します。

3●アジア共生コース

このコースでは大きく成長するアジア経済、中国、韓国、ロシア、タイなどの社会と経済を学びながら、アジア地域との交流を通じた北海道経済の発展可能性と、共生の道を探究します。

写真左：地域研修（現地研修）、中・右：ゼミの様子

経済学部の1年間

入学式

講義

基礎ゼミ合同講義

基礎ゼミ合同講義

地域研修（現地研修での調査）

地域研修報告会

専門ゼミ

卒業式

［平成29年4月13日］2部基礎ゼミナール（合同ゼミ）

「経済、経済学を学ぶこと――私の体験から」

経済学部教育開発支援委員会では、基礎ゼミナール改革の一環として、新年度が始まって間もない4月中旬、2部の基礎ゼミナール10クラス合同で「経済、経済学を学ぶこと」と題した講話を実施しました。現状では、新入生たちは経済学部に入学した直後、何をどう学んでいけばよいのかが分からない状態で、履修登録をしたり授業に出席したりしています。そこで、今回の合同ゼミでは、石井健先生(西洋経済史)、大屋定晴先生(社会経済学)、濱田武士先生(地域経済論)、森下宏美先生(経済学史)が、それぞれの分野で研究を志すにいたった経緯や、研究を通じて知り得たことなどについて、先生自らの体験を交えてお話しいただきました。今回の企画を通じて、「経済学」にはさまざまなフィールドやアプローチ法があり、その先に見える地平もさまざまですが、「経済学」はそれら全体を包括するものであるというメッセージを、新入生たちに伝えられたようです。［辻］

［平成29年4月14日］特別講義（地理情報システム論）講演会

「GISの活用方法とその社会的・経済的意義」

講師● ESRIジャパン株式会社札幌オフィス　福田 潤 氏

今年から開講された特別講義(地理情報システム論)では、地理情報システム(GIS)を実社会の様々な課題解決に用いる能力を養うことを一つの目的としています。今回、広範な領域におけるGISソフトの活用事例に精通しているESRIジャパンの福田氏をお招きして、GISが様々な社会・経済的課題の解決にどのように役立っているのか、講演していただきました。例えば、地方財政難や超高齢社会の下で、効率的な地域医療の展開が各地で課題となっていることに対し、救急搬送の体系や、人々が医療機関に対して持つアクセシビリティをGISによって明確化した和歌山県の事例、熊本地震での被災状況をGISで処理することで的確に情報を管理し、さらにその情報を県内外で共有して迅速な支援体制を構築した事例などが報告されました。GISは、地理情報を可視化するのみならず、空間的な分析手法を用いて課題解決に活用できることがわかり、貴重な機会となりました。［浅妻］

講演会講師の福田潤氏

講義の様子

［平成29年6月16日］経済学部特別講演会

「韓国におけるマウルづくりの現状と課題」

講師●忠清南道マウルづくり支援センター長・
韓国大田大学校客員研究員　　グ・ジャイン 博士

6月16日㈮19時30分から、経済学部特別講演会「韓国におけるマウルづくりの現状と課題」を開催した。講師には、韓国・忠清南道マウルづくり支援センター長のグ・ジャイン博士を招いた。グ博士は、日本で農学博士を授与された内発的地域開発論、農村経済論を専門とする研究者で、韓国で最も先進的な実践として有名な全羅北道鎮安郡のマウルづくりを支援されてきた方で、2年前から忠清南道のアン・ヒジョン知事の招きで忠清南道のマウルづくりを支援されている。海外からの方を招いての特別講演会では通訳が必要となるため、持ち時間の半分が通訳時間となってしまうが、日本で約6年間過ごされたグ博士は、流暢な日本語と日本語での資料を基にお話しされたので、参加した約200人の学生たちは大きく頷きながら聞き入っていた。私が担当する1部の地域社会論Ⅰの履修者の半数近くが参加してくれ、講演後の質疑応答も行われ大変有意義な特別講演会となった。［内田］

質疑応答

講師のグ・ジャイン博士（右）

研究室の窓から

地域という器―歴史・自然・文化から経済を見る

濱田 武士 経済学部教授
はまだ　たけし

●主な論文・著書に、『弁甲材の経済と産業システム～国内唯一のブランド造船材の盛衰昭和40年代の姿』(日南地区木材協会、2009年、単著)、『伝統的和船の経済－地域漁業を支えた「技」と「商」の歴史的考察』(農林統計出版、2010年、漁業経済学会奨励賞受賞)、『漁業と震災』(みすず書房、2013年、単著、漁業経済学会賞受賞、日本協同組合学会賞受賞)、『日本漁業の真実(ちくま新書)』(筑摩書房、2014年、単著)、『福島に農林漁業をとり戻す』(みすず書房、2015年、共著、共同研究、日本協同組合学会賞学術賞)、『魚と日本人食と職の経済学(岩波新書)』(岩波書店、2016年、単著、2016年度水産ジャーナリストの会大賞、第8回辻静雄食文化賞)

[専門は地域経済論]
1969年3月生まれ大阪府出身。北海道大学大学院修了、水産経営技術研究所研究員、東京海洋大学准教授を経て、2016年4月より本学部教授。

経済の前に、地域ありき

私は「地域経済論」を担当しています。この授業では、北海道内をはじめ全国の特徴的な地域の現状を「地域経済学」の視点から解説しています。

地域経済学といってもスタイルはいろいろあります。学派によって様々です。ミクロ経済学の理論や計量経済学の数学的手法を使って理論的・定量的に地域を分析するものもあれば、経済地理学のように産業配置論など企業行動の地理的把握から地域を分析するものあります。私がとっているスタイルは、まず地域という器があってそこから経済を見ていくというものなので、経済地理学と似て非なるものです。そして地域経済を「地域を支える経済」と解釈していきます。経済の前に、地域ありきなので、その地域の歴史、自然環境、文化面なども見ながら経済を見ていくことになります。そのうえで、どのような経済が良いのかを考えるのが到着点です。

ところで、皆さんは性格分析をしないでしょうか。自己分析する事も大切ですし、友達同士で互いの性格を分析しあうのもためになります。是非してみてください。

そのとき、なぜ自分の性格が今こうなったのかと考えるところから始まり、結果、それぞれが生まれ育った環境や人生の経緯を根拠にして、言葉に置き換えることになります。もちろん、人の性格は、親から受け継がれた遺伝的なものも否めません。しかし分析する事によって、育った環境に大きく左右されているということを自覚できるのです。

そこで、自覚しても意味が無いと思う人が多いかもしれません。たしかに自覚しただけでは何も始まりません。しかし、未熟な自分を自覚したとしたら、どうしますか。多くの人は、自分の未熟さを遺伝や生まれ育った環境の責任で終わらせず、それを克服しようと思うのではないでしょうか。人間が内面から成長するにはこうした作業が必要なのです。

地域の発展とは何か

話が逸れてしまいましたが、地域も同じなのです。地域の性格の分析があって、未熟さや問題を克服しないと、発展しないのです。

では、発展するということはどのようなことでしょうか。これはかなり難しい「問い」ですが、ここで出てくる一つの指標が地域を支える経済なのです。

この経済が、どのような経済なのかが肝要なのです。たとえば、札幌市を考えてみましょう。札幌市を支える経済の一特性として「支店経済」というものがあります。

大通り近辺に行けば東京などに本社のある大企業の支社・支店が建ち並んでいます。それらは、東京から北海道に進出し、北海道への商品を供給する、あるいは北海道から原料を調達するための企業の拠点（北海道内の中枢機能）になっています。

営利企業の行動は慈善活動ではありません。大通り近辺に広がる企業群の立地は利益追求の結果として現れた現象です。だからと言って、何も大企業が悪いことをしにきているわけではありません。むしろ、北海道に暮らす我々はこのことによって色々な消費が叶えられていますし、多くの人の働く場が提供されています。しかし、東京本社の企業群が稼いだ利益はどこにいきますか。株主配当を終えた後、残りが次の投資先に向かいますが、その恩恵は北海道に広がるでしょうか。おそらくほとんど広がらないでしょう。それどころか、札幌からこれらの企業群が撤退したらどうなるでしょうか。札幌市の地域経済は明らかに萎みます。そして、その撤退はどこで誰によって決められてしまうでしょうか。札幌市民は企業の撤退を食い止めることができるでしょうか‥‥

札幌や北海道の未来を描くには

札幌市を支える経済とはいえ、支店経済についてだけ突き詰めれば、だんだん気持ちが暗くなります。ただし、このことを善悪で判断してもしかたありません。持ちつ持たれつの関係ですから。

問題はその経済が地元の人達がつくった自律的な経済ではなく、他地域に依存した経済だということです。

これに対して、東京という域外の企業に頼って何が悪い、頼った方が発展するではないかと支店経済の良さを訴える人もいれば、札幌市は大都市だから見放されることはないと楽観視する人も出てくるでしょう。実際、地域経済に与える企業誘致の効果は手っ取り早く大きいし、大企業側も札幌市の消費力を踏まえて簡単には撤退しないでしょう。

しかし、交通・通信・物流手段が勢いよく発展しています。これまでも撤退した企業はありますが、今後さらに、札幌に支店を置かなくてもやっていけると判断する企業が出てくるかもしれません。

以上のような分析を進めていくと、将来に備えて、企業誘致も良いけど、自律的な経済をつくろうという発想が湧いてきます。

では、自律的な経済っていったい何？ということになります。経済は、北海道の中だけで成り立っているわけではないのに、首をかしげる人が多いでしょう。しかし、このことを考えなければ札幌や北海道の未来が描けません。

「地域経済論」は、こうした問題意識に基づいて展開しています。これからの北海道のためにも、是非、関心をもって欲しいです。

札幌市中央区の大通り近辺

［平成29年6月19日］財政学特別講演会

「わが国の財政の現状と課題：国と地方の視点から」

講師●北海道財務局理財部 上席主計実地監査官　嶋中 一史 氏
融資課調査官　齊藤 謙司 氏

6月19日(月)に、本学卒業後に財務省北海道財務局で活躍されている嶋中一文氏と齊藤謙司氏を講師にお迎えし、標記の講演会を開催しました。まず嶋中氏からは、財務局の組織、業務、機能、また国の予算編成の仕組み、予算の無駄遣いのチェックの仕組みなどについて説明をしていただいた後、我が国の財政の現状と財政健全化目標について、骨太の方針2017などを交えながら解説をしていただきました。次に齊藤氏からは、国と地方の財政状況を比較した後、両者の関係、また地方交付税や臨時財政対策債などの地方財政対策や財政投融資の仕組みなどを説明していただきました。約110人の受講生の受講後アンケートによりますと、財務局の業務がイメージできた、持続可能な財政制度(社会保障制度)というものが本当にあるのか、なぜわが国は財政再建に関して迷走するのか、などの感想や質問が寄せられました。嶋中氏、齊藤氏をはじめ、講演会開催にご尽力をいただいた皆様に、感謝申し上げます。［野口］

講師の嶋中氏（写真上左）と齊藤氏（写真上右・下）

［平成29年7月8日］教務センター主催　市民公開講座

「世界の言語と文化のモザイクを眺める」

本学教務センターでは、社会貢献の一端として、大学で開講されている「英語以外の外国語」（ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、韓国・朝鮮語）科目に関する知的財産を、広く社会に公開しています。今年度も、5月13日より隔週土曜日の午後に、各言語の講座を実施しましたが、このうち経済学部の辻弘範教授（韓国・朝鮮語）は、「朝鮮半島の“いま”を形作る伝統文化」と題する講演を行いました。最近の韓国・北朝鮮情勢は、日本社会から見ると不安定な要素をはらんでいますが、その眼差しには、「日本の常識では考えられない・理解できない」という感覚がしばしば伴い、それが「嫌韓」と呼ばれる社会風潮へとつながることすらあります。そのため今回の講演では、朝鮮半島で培われてきた伝統文化、特に儒教文化をキーワードに、いま韓国で見られるさまざまな社会問題が、どのような文化的規制をともなって成立しているのかを、読み解いてみました。［辻］

7月8日の公開講座の様子。講師は経済学部辻弘範教授

1部ゼミ対抗 ソフトボール大会

▲優勝を果たした水野谷ゼミⅠ・Ⅱと準優勝の古林ゼミⅠのみなさん

北海道にもようやく初夏の日差しが降りそそぐ6月上旬、今年も毎年恒例の経済学部ゼミナール協議会主催「ゼミナール対抗ソフトボール大会」が開催されました。6月5日～9日にかけて、月寒公園高台球場にて試合が行われ、基礎ゼミから20チーム、専門ゼミから24チームの計44チームが参加しました。今年の大会は接戦となる試合が多く、じゃんけんで勝敗を決める試合もありました。トーナメントを勝ち抜いて決勝戦にコマを進めたのは、水野谷ゼミⅠ・Ⅱと古林ゼミⅠ。白熱した闘いが繰り広げられましたが、堅い守備で失点をゼロに抑えた水野谷ゼミⅠ・Ⅱが3－0で優勝しました。なお、3位決定戦に関しては時間の都合上行われませんでした。全体的に守備力の高さが勝利につながるような大会となりました。ソフトボール大会はゼミの親睦を深める機会にもなるので、今後も多くのゼミが参加することを期待します。［宇土］

［OG訪問］

働きウーマン 19

◀大森さんオススメ、水出し冷番茶のポットを持って

外資系航空会社のCAや海外旅行の添乗員を経て、日本茶の伝道師に。

大森 由美子さん
おおもり ゆみこ

▲4年生時の加藤ゼミ（'97卒業アルバムより、中列右から4人目が大森さん）

難病と闘いながら7年かけて大学卒業を卒業した大森由美子さん。卒業後、CAやツアーコンダクターとして活躍していた彼女が、家業の日本茶専門店を継いだ理由とは？

7年かけて大学を卒業

札幌市の円山地区で日本茶専門店「大森園」を営む大森由美子さん。彼女の半生は、短い時間では語り尽くせないほど盛りだくさんのエピソードに満ちている。

十代後半から二十代前半は病との闘いだった。高校2年のときに消化器系の難病を発症。一時は通学が困難になるほど体調が悪く、大学に入学して4年間は入退院を繰り返した。5年目から少しずつ回復し、結局7年かけて卒業したという。

「一番の思い出は、ゼミの先生や仲間と行った東アジア旅行です。日本の常識が海外では通用しないことを身をもって実感できました」

フェリーや列車を乗り継いで、香港、上海、台湾、韓国などを2週間近くかけてめぐる貧乏旅行。東アジアの経済発展の光と影を目撃したことは、後に外資系の航空会社に興味を持つきっかけとなった。

就職活動では、CA（キャビンアテンダント）を目指して香港やシンガポールの航空会社に応募したものの不採用。一度は生命保険会社に就職したが、夢を諦めきれず、「どうせダメかもしれないけど、やってダメだったほうが納得できる」と再チャレンジ。年齢制限の最後の歳で見事CAへの転職を果たした。

外資系航空会社のCAとして活躍

憧れのシンガポール航空でCAとして勤務したのは5年間。楽しく充実した日々だったが、結婚を機に退職して帰国。その後、離婚を経て、東京で海外旅行のツアーコンダクターとして働き始めた。担当したのは主にアフリカやヨーロッパのツアー。日本と海外を往復する忙しい毎日を送っていたときに、大好きな祖母が末期癌だという知らせが届いた。兄弟のいない由美子さん、祖母を自宅で看病しようと決心し、札幌に戻ってきた。

「癌と分かった時点で余命2カ月。私が看病できたのはわずか3週間でしたけど、祖母からお茶のお店を始めた経緯や、これまでの苦労などを聞くうちに、家業への興味が強くなってきました」

祖母が創業したお店を引き継いで

大森園は由美子さんの祖母が創業した日本茶専門店。当時は由美子さんの父が代表者を務めていた。本店のほかデパートなどにも出店して、当時は30人近い従業員を抱える大所帯。祖母を看取ったあと、由美子さんは自然と店を手伝うようになる。今から8年前のことだった。

「それまで店を継ぐなんて考えたこともなかったんですが、よそ者としてお店に入ってみると、非効率な面や従業員の管理不足などが見えてきて…」

由美子さんは父とぶつかりながら、不採算のテナントを閉じて経営規模を縮小することを提案。果敢に実行に移したほか、3年前には本店を西区から中央区に移転することを決意させ、引っ越しと同時に3代目の代表取締役を引き受けた。

「父とは経営方針をめぐって衝突することもありましたが、常に具体的な数字を示して説得しましたね。大学で学んだ知識や手法が少しは役に立ったのかもしれません」

両親とスタッフに支えられながら、経営者としての重責を担って3年。由美子さんは自らの実績を「優良可でいえば可。ぎりぎり合格ライン」と厳しく評価している。

日本茶の魅力を世界に発信したい

「2号店を出したいという欲はないんです。それよりもお茶の魅力を広め、売り上げと利益率をしっかり確保して、お客さまにとってもスタッフにとっても、なくてはならないお店にしたい。そのうえで将来的には海外に日本茶の魅力を紹介する仕事ができたらいいな、と」

日本茶インストラクターの資格を持つ由美子さん。訪日外国人の間で抹茶味のお菓子がヒットしていることもあってか、最近は大森園にも外国客が増えているという。

「CAをしていたとき、ドリンクサービスで緑茶を希望される外国人が多いのに驚きました。機内ではティーバックでしか提供できませんでしたが、急須で入れた本当のお茶のおいしさを、海外の方にも伝えることができたら…と思うんです」

最近はお茶のおいしい淹れ方や緑茶の効能効果などをテーマにした講演の依頼も少しずつ増えてきている。話題が豊富な由美子さんのトークは、きっと多くの人の心をつかみ、魅了しているのだろう。

最後に、後輩にあたる本学の学生へのメッセージをお願いすると、こんなアドバイスが返ってきた。

「私はゼミの先生に『大学時代はどっぷり勉強してどっぷり遊べ』と言われました。『アルバイトで自分の時間を切り売りするよりも、やりたいことをやるべきだ』と。実際にやってみて失敗することもあるはずですが、それも全て次につながる貴重な体験。私自身、若いときの病気や海外で働いた経験が、今の仕事につながっていると感じています」

海外で広く活躍していた国際派の女性が一転、日本文化を代表するお茶の伝道師へ。人生は何が起こるか分からないからおもしろいのかもしれない。

profile
1971年　札幌市生まれ
1990年　札幌商業高校（現・北海学園札幌高校）卒業
1997年　本学経済学部経済学科卒業
1998年　シンガポール航空のCAとして就職
2014年　大森園株式会社 代表取締役に就任
http://www.oomorien.co.jp

From a Distance 8

「意外な意外の意味」

●歌代 崇史［経済学部教授］

第二言語習得研究という学問分野に「言語転移」(language transfer)という概念があります。言語転移というのは、第二言語を学習する際の第一言語(母語)から第二言語への影響を指しています。英語を学習する日本語母語話者で考えると、日本語の知識が英語に転移するということになります。例えば、日本語で「りんごを食べた」を英語で表すには、I ate an apple. ですね。「食べた」の「た」は日本語で過去を表していますが、これを英語で表すには、動詞の過去形を用いれば、多くの場合うまくいきます。このように私達は、第二言語を話したり書いたりする際に、母語の知識を意識せずとも使っているのです。これが言語における転移です。

このような言語転移には二つの側面があります。一つは言語の習得に役に立つもの、もう一つは、習得を阻害するものです。役立つものは「正の転移」、役立たないものは「負の転移」といわれています。「りんごを食べた」の例は正の転移で、第一言語の知識を第二言語に適用し上手くいっている例と言えます。しかし、負の転移というものもあり、それが学習者を悩ませたり、ミスコミュニケーションの原因となったりしています。

私は以前、台湾で日本語を教えていたことがあるのですが、同僚の台湾人の教員数名と日本語で世間話をしているとき、「今日、意外があったんですよ」と同僚が語ったことがありました。私は単に「意外なことがあったんだなー」くらいに思ったのですが、話をよく聞いてみると、「通勤途中で交通事故を見た」という話だったのです。どうしてこうなったのでしょう。台湾では台湾語と北京語が話されています。文字としては漢字が使われているので、日本と台湾は漢字圏として括れます。日本語にも「意外」という語彙があり、台湾にも「意外」という同じ漢字を用いた語彙があります。しかし、意味の守備範囲が少し異なっているのです。日本語の「意外」は、思ってもいなかった(こと)の意味で使われますが、台湾の「意外」は交通事故の意味でよく使われるようなのです。

台湾九份　photo：N.SASAKI

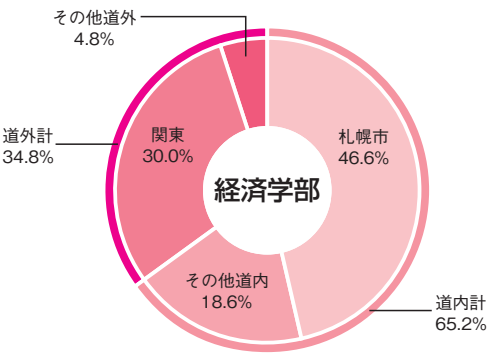
漢字圏の母語話者が漢字圏の言語を学ぶ際、漢字は正の転移として働くことが多い一方で、負の転移の側面もあり、それはかなり能力が高い学習者でも起こるようです。ちなみに、「意外」の話をしてくれた同僚は日本の留学経験もあり、非常に流暢な日本語を操る大学教員です。

2017年 就職情報　平成29年3月31日現在

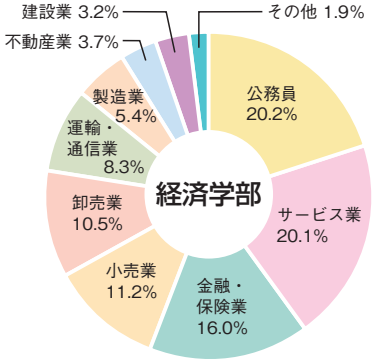
経済学部2017年3月卒業生の就職状況は、下の図表のとおりでした。卒業生の就職率は、1部が93.2%、2部が83.1%と、前年と比較して1部が微増、2部が微減となりました。業種別では、2017年の卒業生も公務員試験の合格状況が堅調だったため、公務員就職者の割合が20.2%と前年より高くなっています。民間企業に目を向けると、人手不足感が強いと言われるサービス業や金融業への就職者の割合が、前年よりさらに高くなりました。また、道外企業に就職した卒業生は、2017年は34.8%と毎年その割合を高めてきています。これは、近年の「売り手市場」ともいわれる就職環境の改善により、積極的な採用を行う本州企業が増加しているためではないかと考えられます。実際、本学キャリア支援センターに寄せられる道外からの求人は、2014年以降、関東圏の企業を中心に毎年600件以上増加しています。

なお、今年も経団連加盟企業の採用選考は、6月から開始となっています。それに合わせ、本学キャリア支援センターでは、6月10日に本学学生を積極的に採用している50社の人事担当者が参加し、合同企業説明会を開催しました。キャリア支援センターでは、合同企業説明会や単独企業説明会など、さまざまな学生の就職活動を支援する取り組みを今後も開催する予定です。［野口］

本社所在地別就職状況



業種別就職状況



6月10日に行われた第2回合同企業説明会

公務員・教員登録状況［平成28年度 卒業生・全学部］平成29年3月31日 現在（右表同）

名称	人数
国家公務員総合職	1
国家公務員一般職	95
国税専門官	10
労働基準監督官	3
財務専門官	1
裁判所職員一般職	4
皇宮護衛官	2
自衛隊幹部候補生	7
自衛隊一般曹候補生	6

名称		人数
北海道職員	一般	49
	教育行政	10
	技術	2
	警察行政	9
	学校事務	1
北海道	警察官	66
	女性警察官	12
警視庁警察官		10
その他の警察官		1

名称		人数
札幌市職員	行政	36
	技術系	5
	学校事務	2
	消防	11
その他市町村		69
その他公務員（上記分類以外）		20
公立学校教員（臨時含む）		65
国立大学等独立行政法人職員		55
総計		555

過去3カ年の主な内定先

企業名	人数
北海道職員	37
日本郵政グループ	26
国家公務員一般職	24
札幌市役所	20
北海道警察	18
マックスバリュ北海道	13
北海信用金庫	12
北洋銀行	11
札幌市消防	10
教員	10

［経済学部のみ］　※公務員は合格者数

econ. No.36　2017. 夏・秋号　発行：北海学園大学経済学部
制作：株式会社 ラボット

〒062-8605 札幌市豊平区旭町4丁目1-40　TEL. 011-841-1161(代表)　FAX. 011-824-7729
http://econ.hgu.jp/　北海学園大学エコン 検索　E-mail：kyomu-za@econ.hokkai-s-u.ac.jp

VEGETABLE OIL INK　R100 古紙パルプ配合率100%再生紙を使用